

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2001-244088(P2001-244088A)

【公開日】平成13年9月7日(2001.9.7)

【出願番号】特願2000-52718(P2000-52718)

【国際特許分類】

<b>H 05 B</b>	<b>41/24</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 03 B</b>	<b>21/14</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 05 B</b>	<b>41/16</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

H 05 B	41/24	A
G 03 B	21/14	A
H 05 B	41/16	Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月17日(2006.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ランプ電流が低周波矩形波電流と高周波矩形波電流とからなり、該ランプ電流により高圧放電灯を点灯させる高圧放電灯点灯装置において、

該ランプ電流は、低周波矩形波電流の半周期の直後に、該低周波矩形波電流の半周期の極性とは逆の極性から始まる高周波矩形波電流の1サイクルが印加されたものからなり、該高周波矩形波電流は、前記低周波矩形波電流よりも大きい電流値であることを特徴とする高圧放電灯点灯装置。

【請求項2】

ランプ電流が低周波矩形波電流と高周波矩形波電流とからなり、該ランプ電流により前記高圧放電灯を点灯させる高圧放電灯点灯装置において、

該ランプ電流は、低周波矩形波電流の半周期の直後に、該低周波矩形波電流の半周期の極性とは逆の極性から始まる高周波矩形波電流の1サイクルが印加されたものからなり、該高周波矩形波電流は、該高周波矩形波電流の1サイクルの後半の半サイクル期間のみ低周波矩形波電流よりも大きい電流値であることを特徴とする高圧放電灯点灯装置。

【請求項3】

前記低周波矩形波電流の周波数を60~500Hzの範囲から選択し、前記高周波矩形波電流の周波数を前記選択された低周波矩形波電流の周波数の5~25倍までの範囲で選択して使用されることを特徴とする請求項1乃至2の何れかの項に記載の高圧放電灯点灯装置。

【請求項4】

前記低周波矩形波電流よりも大きい該高周波矩形波電流の電流値は、高圧放電灯の正常動作時のランプ電流値の1.2~5倍とすることを特徴とする請求項1乃至3の何れかの

項に記載の高圧放電灯点灯装置。

【請求項 5】

直流電圧を交流ランプ電流に変換するブリッジ回路(3)、該ブリッジ回路に該直流電圧を供給する回路(2、9)及び該ブリッジ回路の交流ランプ電流における交互導通を制御する回路(8)とからなる高圧放電灯点灯装置において、

該制御回路(8)は、該交流ランプ電流が、低周波矩形電流と該低周波矩形電流の半周期の直後に、該低周波矩形波電流の半周期の極性とは逆の極性から始まる高周波矩形波電流の1サイクルが印加されたものからなるよう、該ブリッジ回路(3)を制御し、

該直流電圧供給回路(2、9)は、該印加された1サイクルの高周波矩形波電流の1サイクル期間又は該1サイクルの後半の半サイクル期間だけ、該交流ランプ電流の他の期間よりも大きい直流電圧を該ブリッジ(3)回路に供給していることを特徴とする高圧放電灯点灯装置。